

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和6年7月1日（月）

### 2 確認箇所

第二土捨場（図1）

### 3 確認項目

瓦礫類分別作業エリアの状況

### 4 確認結果の概要

国が定めた中長期ロードマップでは、2028年度内までに、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除くすべての固体廃棄物の屋外での保管を解消することを目標としている。

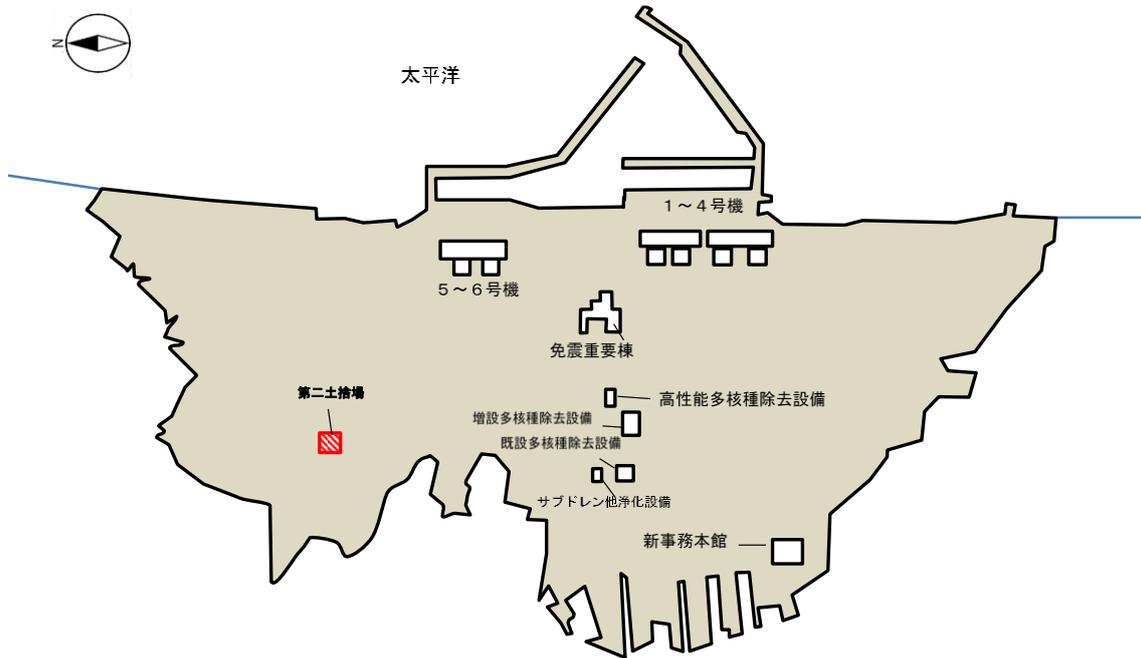
東京電力は、固体廃棄物のうち瓦礫等（瓦礫類、伐採木、使用済保護衣等）を可能な限り減容した上で建屋内保管へ集約し、屋外の一時保管エリアを解消するとしている。

本日は、固体廃棄物の管理状況を確認する一環として、構内で発生した瓦礫類（金属・コンクリート等）の分別作業を実施している第二土捨場南西側エリア（以下「エリア」という。）の状況を確認した（写真1）。

瓦礫類の仮置き状況等を確認し、瓦礫類のエリア外への散逸、水や油の漏えい等の異常がないことを確認した。現場の状況は以下のとおりである。

（現場の状況）

- ・ エリア内に金属ガラ、ノッチタンク、鉄骨、発電機等が仮置きされていた。（写真2）
- ・ エリア内の一角には様々な種類の不燃物が野積みされており、その近傍には分別作業に使う重機が駐められていた。（写真3）
- ・ 「金属ガラ」、「コンクリートガラ」、「機械類・制御盤類」、「土砂類」、「ケーブル」等、瓦礫類の分類名が記された10フィートハーフハイトコンテナが仮置きされていた。（写真4）
- ・ ノッチタンクは、水の浸入を防ぐために、養生シートで覆われていた。（写真5）
- ・ 火災に備えて、消火器が配備されていた。（写真6）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
分別作業を実施しているエリア  
の入口



(写真2-1)  
金属ガラの仮置き状況



(写真 2 - 2)  
ノッチタンクの仮置き状況



(写真 2 - 3)  
鉄骨、発電機の仮置き状況



(写真 3)  
野積みされた不燃物の状況



(写真 4 - 1)  
瓦礫類の分類名が記されたコンテナ  
の仮置き状況



(写真 4 - 2)  
分類名貼付の状況



(写真5)  
シートで養生されたノッチタンクの状態



(写真6)  
消火器の設置状況

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。